

大川小学校

小さな命の意味を考える

— 東日本大震災から10年 —



2011年3月11日、大川小学校（宮城県石巻市）では津波で74名の子どもが犠牲になりました。避難できる時間・情報・場所もあったのに…
あの時、大川小学校で何があったのでしょうか。教員（大人）が子どもの命を守ることに、皆で考えましょう。

日時：2021年7月2日（金）16:40～18:10
会場：国際コミュニケーション学部棟206室
※状況により、開催方法等を変更することがあります

学部、学年を問わず、誰でも参加できます。

講師：佐藤 敏郎 氏（スマートサプライビジョン特別講師）

1963年、宮城県石巻市生まれ。宮城教育大学卒業後、中学校の国語科教諭として宮城県内の中学校に勤務。2015年3月退職。

東日本大震災当時は、宮城県女川第一中学校（現在の女川中学校）に勤務。震災後の2011年5月、生徒たちの想いを五七五に込める俳句づくりの授業を行い、テレビ、新聞、書籍等で紹介される。2016年度の中学校1年生の教科書にも掲載されることになった。

震災で当時大川小学校6年の次女を亡くす。2013年末に「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、現在は、全国の学校、地方自治体、企業、団体等で講演活動を行う。

小さな命の意味を考える会代表、NPOカタリバアドバイザーの他、ラジオのパーソナリティーとしても活動

